

SELF-HOSTING > インストール&デプロイガイド >

ウィンドウズ標準デプロイメント

ヘルプセンターで表示:

<https://bitwarden.com/help/install-on-premise-windows/>

ウィンドウズ標準デプロイメント

この記事では、自分のWindowsサーバーにBitwardenをインストールしてデプロイする手順を説明します。BitwardenはLinuxとmacOSのマシンにもインストールしてデプロイすることができます。Bitwardenソフトウェアリリースサポートのドキュメンテーションをご確認ください。

システム仕様

	最小限	おすすめ
プロセッサ	x64、1.4GHz	x64、2GHzデュアルコア
記憶	6GB RAM	8+ GB RAM
ストレージ	76GB	90GB
Dockerバージョン	エンジン19+とコンポーズ1.24+	エンジン19+およびコンポーズ1.24+

ネストされた仮想化

Windows ServerでBitwardenを実行するには**ネストされた仮想化の使用が必要です**。あなたのハイパーバイザーのドキュメンテーションを確認して、ネストされた仮想化がサポートされているかどうか、そしてそれをどのように有効にするかを調べてください。

💡 Tip

Azure VMとしてWindows Serverを実行している場合、ネストされた仮想化をサポートするすべての**システム要件**を満たす**Standard D2s v3 Virtual Machine running Windows Server 2022**を推奨します。また、**セキュリティタイプ**を選択する必要があります：**スタンダード**をデフォルトの**信頼できる起動仮想マシン**ではなく。

要約すると

以下は、この記事の**インストール手順**の要約です。このセクションのリンクは詳細な**インストール手順**セクションにジャンプします：

1. **ドメインを構成**します。あなたのマシンを指すドメイン名のDNSレコードを設定し、マシン上の80番と443番のポートを開きます。
2. インストールを完了するための**Bitwarden ユーザーとディレクトリ**を作成します。
3. あなたのマシンに**Docker Desktop**をインストールして設定してください。
4. インストールに使用するために、<https://bitwarden.com/host>からインストールIDとキーを取得してください。
詳細については、[インストールIDとインストールキーは何に使われますか？](#)をご覧ください。
5. マシンにBitwarden をインストールします。

6. `\bwdata\env\global.override.env`の設定を調整して環境を構成します。

💡 Tip

少なくとも、`globalSettings__mail__smtp...`変数を設定して、ユーザーを招待し確認するためのメールアドレスサーバーを設定してください。

7. インスタンスを開始します。

8. 設定したドメインをウェブブラウザで開いて、インストールをテストしてください。

9. デプロイ後は、定期的にサーバーのバックアップを取り、システムの更新を確認することをお勧めします。

インストール手順

📌 Note

Powershell ISEを使用してPowershellコマンドを実行すると、Bitwardenのインストールが失敗します。成功したインストールを完了するにはPowershellが必要です。

あなたのドメインを設定してください

デフォルトでは、Bitwardenはホストマシンのポート80 ([http](#)) および443 ([https](#)) を通じて提供されます。ネットワーク内部および/または外部からBitwardenにアクセスできるように、これらのポートを開いてください。インストール中に異なるポートを選択することもできます。

💡 Tip

Windows Firewallを使用している場合、Docker Desktop for Windowsは自動的にWindows Firewallの例外に自身を追加しません。関連するエラーを防ぐために、TCPポート80および443（または選択した代替ポート）の例外を追加してください。

インターネット経由でBitwardenを提供している場合、特に、ホストマシンを指すDNSレコードを持つドメイン名（例: [bitwarden.example.com](#)）を設定することをお勧めします。

Bitwardenローカルユーザー&ディレクトリを作成する

PowerShellを開き、次のコマンドを実行してBitwardenローカルユーザーを作成します:

Bash

```
PS C:\> $Password = Read-Host -AsSecureString
```

上記のコマンドを実行した後、テキスト入力ダイアログに希望のパスワードを入力してください。パスワードを指定した後、次の操作を実行してください:

Bash

```
New-LocalUser "Bitwarden" -Password $Password -Description "Bitwarden Local Admin"
```

新しく作成されたユーザーとして、**C:**の下にBitwardenフォルダーを作成してください。

Bash

```
PS C:\> mkdir Bitwarden
```

Docker Desktopで、**設定** → **リソース** → **ファイル共有**に移動し、作成したディレクトリ (**C:\Bitwarden**) をリソースリストに追加します。あなたの変更を適用するには、**適用して再起動**を選択してください。

Note

Bitwardenユーザーはdocker-usersグループに追加する必要があります。Dockerのドキュメンテーションを参照して学びましょう。

このドキュメントのすべての後続の手順を完了する前に、新しく作成したユーザーとしてログインすることをお勧めします。

Dockerデスクトップを設定する

Bitwardenは、**Dockerコンテナ**の配列を使用して、あなたのマシンにデプロイされ、実行されます。Windows用のDocker Desktopには、Docker EngineとDocker Composeの両方が含まれています。

1. [Docker Desktop for Windows](#)をダウンロードしてインストールし、インストール中に**Hyper-Vの代わりにWSL2を使用する (推奨)** 設定オプションの**チェックを外してください**。

Bitwardenをインストールします

Bitwardenは、Windowsマシンへの簡単なインストールのためにPowershell Cmdletファイル (**.ps1**) を提供しています。次の手順を完了して、Cmdletを使用してBitwardenをインストールします：

Tip

あなたがBitwardenユーザー&ディレクトリを作成した場合、以下をBitwardenユーザーとして完了してください。

1. 作成されたディレクトリに移動します。

Bash

```
cd C:\Bitwarden
```

2. 次のコマンドを実行して、Bitwardenのインストールスクリプト (**bitwarden.ps1**) をダウンロードしてください：

Bash

```
Invoke-RestMethod -OutFile bitwarden.ps1 -Uri "https://func.bitwarden.com/api/dl/?app=self-host&platform=windows"
```

3. 次のコマンドを使用してインストーラースクリプトを実行します：

Bash

```
.\bitwarden.ps1 -install
```

4. インストーラーのプロンプトを完了させてください:

- **あなたのBitwardenインスタンスのドメイン名を入力してください:**

通常、この値は設定されたDNSレコードであるべきです。

- **Let's Encryptを使用して無料のSSL証明書を生成しますか? (はい/いいえ):**

yを指定して、Let's Encryptを使用して信頼性のあるSSL証明書を生成します。Let's Encryptからの有効期限のリマインダーのために、メールアドレスを入力するように求められます。詳細については、[証明書のオプション](#)をご覧ください。

あるいは、**n**を指定し、**SSL証明書を使用するためのオプション**を使用しますか?

- **あなたのインストールIDを入力してください:**

有効なメールアドレスを使用して、<https://bitwarden.com/host>でインストールIDを取得してください。詳細については、[インストールIDとインストールキーは何に使われますか?](#)をご覧ください。

- **あなたのインストールキーを入力してください:**

有効なメールアドレスを使用して、<https://bitwarden.com/host>でインストールキーを取得してください。詳細については、[インストールIDとインストールキーは何に使われますか?](#)をご覧ください。

- **SSL証明書をお持ちですか? (はい/いいえ)**

すでに自分自身のSSL証明書をお持ちの場合は、**y**を指定し、必要なファイルを**C:\Bitwarden\bwdata\ssl**ディレクトリに配置してください。それが信頼できるSSL証明書であるかどうか尋ねられます (**はい/いいえ**)。詳細については、[証明書のオプション](#)をご覧ください。

あるいは、**n**を指定し、テスト目的のみに推奨される**自己署名SSL証明書?オプション**を使用しますか?

- **自己署名SSL証明書を生成しますか? (y/n):**

Bitwardenが自己署名証明書を生成するように**y**を指定してください。このオプションはテスト用にのみ推奨されます。詳細については、[証明書のオプション](#)をご覧ください。

あなたが**n**を指定すると、あなたのインスタンスはSSL証明書を使用せず、HTTPSプロキシをインストールの前に設定するか、それ以外の場合はBitwardenアプリケーションは正常に機能しません。

インストール後の設定

あなたの環境を設定するには、2つのファイルに変更を加えることが含まれます。それらは**環境変数ファイル**と**インストールファイル**です。

環境変数 (必須)

Bitwardenの一部の機能は、**bitwarden.ps1** Cmdletによって設定されていません。この設定を編集して、環境ファイルを設定します。その場所は**\bwdata\env\global.override.env**です。少なくとも、以下の値を置き換えるべきです:

Bash

```
...
globalSettings__mail__smtp__host=<placeholder>
globalSettings__mail__smtp__port=<placeholder>
globalSettings__mail__smtp__ssl=<placeholder>
globalSettings__mail__smtp__username=<placeholder>
globalSettings__mail__smtp__password=<placeholder>
...
adminSettings__admins=
...
```

`globalSettings__mail__smtp...`をプレースホルダーを置き換えて、新規ユーザーへの確認メールや組織への招待をSendするために使用されるSMTPメールサーバーに接続します。`adminSettings__admins=`にメールアドレスを追加すると、システム管理者ポータルへのアクセスが設定されます。

編集後に`global.override.env`、以下のコマンドを実行して変更を適用してください：

Bash

```
.\bitwarden.ps1 -restart
```

インストールファイル

Bitwardenのインストールスクリプトは、`.\bwddata\config.yml`の設定を使用して、インストールに必要なアセットを生成します。一部のインストールシナリオ（代替ポートを使用したプロキシ経由のインストールなど）では、標準インストール時に提供されなかった`config.yml`への調整が必要になる場合があります。

必要に応じて`config.yml`を編集し、変更を適用するために次のコマンドを実行してください：

Bash

```
.\bitwarden.ps1 -rebuild
```

Bitwardenを開始します

すべての前のステップが完了したら、次のコマンドを実行してBitwardenインスタンスを開始します：

Bash

```
.\bitwarden.ps1 -start
```

① Note

初めてBitwardenを起動すると、Docker Hubから画像をダウンロードするため、少し時間がかかるかもしれません。

すべてのコンテナが正しく動作していることを確認してください。

Bash

```
docker ps
```

健康的な容器のリスト

おめでとうございます！Bitwardenは現在、<https://your.domain.com>で稼働しています。それが機能していることを確認するために、ウェブブラウザでウェブ保管庫を訪れてください。

あなたは今、新しいアカウントを登録してログインすることができます。新しいアカウントのメールアドレスを確認するためには、`smtp`環境変数を設定している必要があります（[環境変数を参照してください](#)）。

💡 Tip

デプロイしたら、定期的にサーバーのバックアップを取ることと、システムの更新を確認することをお勧めします。

次のステップ：

- Bitwarden組織を自己ホスト型で運用する予定がある場合は、[組織を自己ホストする](#)を参照して開始してください。
- 詳細情報は、[自己ホスト型FAQ](#)をご覧ください。

Dockerをブート時に起動する

Docker Desktopは、RDPセッションにログインしている場合にのみ、ブート時に自動的に起動します。ユーザーがログインしているかどうかに関係なく、起動時にDocker Desktopを起動するには：

⚠ Warning

Docker Desktopは、ネットワークからコンテナにアクセスできるようになるまで、起動後最大15分かかる場合があります。

1. タスクスケジューラを開き、アクションメニューから**タスクの作成...**を選択します。
2. 次のセキュリティオプションでタスクを設定します：
 - 作成されたBitwardenユーザー**アカウント**を使用するようにタスクを設定します。

- タスクをユーザーがログインしているかどうかに関係なく実行するように設定してください。

3. トリガータブを選択し、次のトリガーを作成します：

- **タスクを開始**のドロップダウンから、**起動時**を選択してください。
- 詳細設定セクションで、**タスクの遅延**:チェックボックスを確認し、ドロップダウンから**1分**を選択してください。

4. アクションタブを選択し、次のアクションを作成します：

- プログラム/スクリプト入力で、"**C:\Program Files\Docker\Docker\frontend\Docker Desktop.exe**"を指定してください。

5. スケジュールされたタスクの作成を完了するには、**OK**を選択してください。

スクリプトコマンド参照

Bitwardenインストールスクリプト (`bitwarden.ps1`) には、以下のコマンドが利用可能です。すべてのコマンドはスイッチ (-) で始まる必要があります。例えば、`.\bitwarden.ps1 -start`のようにします。

コマンド	説明
-インストール	インストーラーを開始してください。
-開始	すべてのコンテナを開始します。
-再起動	すべてのコンテナを再起動します。
-停止	すべてのコンテナを停止します。
更新	すべてのコンテナとデータベースを更新してください。
-updatedb	データベースを更新/初期化します。
-アップデート実行	run.ps1ファイルを更新してください。
-自己更新	インストールスクリプトを更新してください。

コマンド	説明
- updateconfを更新します	実行中のインスタンスを再起動せずにすべてのコンテナを更新します。
-アンインストール	このコマンドが実行される前に、データベースファイルの保存を求めるプロンプトが表示されます。 y は、最新のバックアップを含むデータベースのtarファイルを作成します。 コンテナを停止し、 bwdata ディレクトリとそのすべての内容を削除し、一時的なボリュームを削除します。実行後、すべてのBitwardenイメージを削除するかどうか尋ねられます。
-証明書を更新する	証明書を更新します。
-再建する	config.yml から生成されたインストール資産を再構築します。
-助けて	すべてのコマンドをリストします。